

第8回芹川川づくり会議 次 第

日時：平成19年6月10日（日）
午後1時より午後4時30分
場所：ひこね市文化プラザ
（3階メッセホール）

開 会

1. 主催者挨拶
2. 今回の予定と前回会議での主な意見の整理
3. 全体説明
 - 3-1. 芹川の現状について
 - 3-2. 芹川川づくり会議の経過について
 - 3-3. 浸水想定マップについて
4. グループでの話し合い

～ 休憩 ～

5. 全体討論
（グループ発表、質問への回答、全体意見の確認）

閉 会

芹川川づくり会議の開催経緯

アンケート・川づくり会議参加者募集

第1回淡海の川づくり検討委員会

■平成13年3月13日(火)
■委員会の設立

芹川河川整備計画(案)公開説明会

■平成13年5月13日(日)午後1時30分～
■多賀町中央公民館2F大ホール
■参加者:96名(川づくり会議の参加者を募集した結果、86名が参加を表明)

第2回淡海の川づくり検討委員会・第1回芹川部会

■平成13年5月18日(金)
■概要説明、現地見学

第1回運営委員会(平成13年6月24日(日))

第1回芹川川づくり会議

■平成13年6月24日(日)午後1時30分～
■多賀町中央公民館2F大ホール
■内容:ワークショップ方式による意見・要望の交換、12名の運営委員の選出

第2回運営委員会(平成13年7月1日(日))

第2回芹川川づくり会議

■平成13年7月15日(日)午後1時30分～
■芹川現場(彦根市役所)
■内容:現地視察(上流のダム水没区域から、中流、下流の河川状況など)

「芹川川づくり会議かわら版」vol.1発行

第3回運営委員会(平成13年8月7日(火))

第3回芹川川づくり会議

■平成13年8月26日(日)午後1時～
■多賀町中央公民館2F大ホール
■内容:ワークショップ方式による意見・要望等としての整理や話し合い

「芹川川づくり会議かわら版」vol.2発行

第4回運営委員会(平成13年9月25日(火))

第4回芹川川づくり会議

■平成13年10月6日(土)午後1時30分～
■多賀町中央公民館2F大ホール
■内容:会議の意見整理としての「意見の樹」の確認、フォーラム形式によるダム問題についての集中討議

第5回運営委員会(平成13年10月11日(火))

第3回淡海の川づくり検討委員会・第2回芹川部会

■平成13年10月18日(木)
■芹川川づくり会議の代表者4名による「意見の樹」の報告
■治水構想説明と議論、提案

「エコトピア」(10/13)川づくり会議パネル出品

第6回運営委員会(平成13年12月5日(水))

第7回運営委員会(平成13年12月17日(月))

第5回芹川川づくり会議

■平成14年1月19日(土)午後1時30分～
■多賀町中央公民館2F大ホール
■内容:フォーラム形式によるダム問題の集中討議

「芹川川づくり会議かわら版」vol.3発行

第8回運営委員会(平成14年2月14日(木))

第4回淡海の川づくり検討委員会・第3回芹川部会

■平成14年2月23日(土)
■芹川川づくり会議の代表者3名による「芹川のダム建設について」の報告
■穴あきダムの課題の抽出

第9回運営委員会(平成14年3月20日(水))

部会報告を「川づくり会議」メンバーへ送付

「芹川川づくり会議かわら版」vol.4発行

第10回運営委員会(平成14年10月11日(金))

第6回芹川川づくり会議

■平成14年10月27日(日)午後2時00分～
■多賀町中央公民館2F大ホール
■内容:穴あきダムによる治水構想の説明

「芹川川づくり会議かわら版」vol.5発行

「芹川川づくり会議かわら版」(号外)発行

第11回運営委員会(平成15年2月14日(金))

芹川河川整備計画(案)公開説明会

■平成14年11月30日(土)午後2時00分～
■多賀町総合福祉保健センター(ふれあいの郷)3F多目的運動室
■参加者:67名(穴あきダムによる治水構想の説明)

第5回淡海の川づくり検討委員会・第4回芹川部会

■平成15年2月27日(木)
■芹川川づくり会議の代表者3名による報告(川づくり会議の経緯、第6回川づくり会議のまとめ、総括意見)
■治水対策として水谷川の河床穴あきダムが最良であることまでが、委員会の合意事項

「芹川川づくり会議かわら版」(号外)発行

第12回運営委員会(平成19年1月30日(火))

部会報告を「川づくり会議」メンバーへ送付

第13回運営委員会(平成19年3月6日(火))

第7回芹川川づくり会議

■平成19年2月25日(日)午後1時30分～
■ひこね市文化プラザ 3Fメッセホール
■参加者:120余名(知事ビデオメッセージ、講演「7.13新潟水害の犠牲者に学ぶ水防災」、資料説明、意見交換)

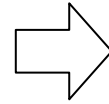
地元協議会への説明

■穴あきダムによる治水構想
■治水方式および施設位置変更

芹川の治水対策についての意見交換（グループ討論）

グループ討論を始めましょう

- 皆さんが主役、気軽に発言。傾注も大切に
- ちょっとした感想も大きな意見に
- 楽しみながら、そして真面目に
- 世話役が皆さんの意見をまとめます。
- 意見の違いは、相互理解に

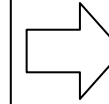


グループでの話し合い（60分）

- 自己紹介
- 意見出し（一人ずつ順番に少しずつ）
 - ・あなたの意見をポストイット1枚に1件を（水色のポストイットで新しい模造紙へ）
 - ・人の意見を聞いて思いついたことも
 - ・賛成でも、反対でも
 - ・質問も出しましょう。
 - ・県の担当者が後でお答えします。（ピンクのポストイットで追加）

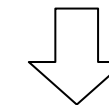
○意見の整理

- ・ポストイットを並べ替えます。
- ・強調したいことアピールすべきことを4つにまとめましょう。
- ・4つの分類にキャッチフレーズも付けましょう。
- ・グループとしての「売り」も皆さんで確認して下さい。



グループ発表（20分）

- グループごとに発表者（予め決めておく、ペアもOK）
 - ファシリテーター以外で
- 発表内容は、事前にグループ全員で確認
- 発表はグループで2分厳守
- 発表者以外でも追加の発表があれば一緒に



全員での話し合い（40分）

- 他のグループ発表への質問
- 自分のグループ発表への追加意見
- 質問についての滋賀県からの答え
- 似た意見や正反対の意見
- 正反対との相互理解

3つの原則・6つのルール

■ 原則その1 自由な発言

自由な発言を最大限に尊重する。

- ルール① 参加者の見解は、所属団体の公の見解としない。
- ルール② 特定の個人や団体のつるし上げは行わない。

■ 原則その2 徹底した議論

安易な妥協は求めず、徹底した議論から相互信頼の土壌をつくる。

- ルール③ 議論はフェアプレイの精神で行う。
- ルール④ 議論を進めるにあたっては、実証的なデータを尊重する。

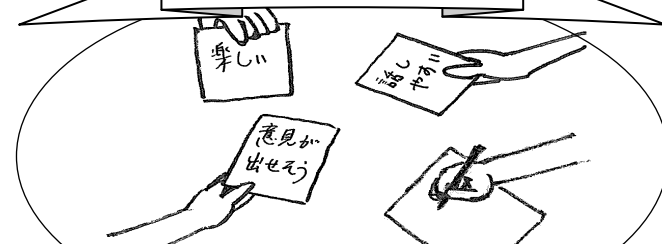
■ 原則その3 合意の形成

合意に基づく実行性のあるデータを尊重する。

- ルール⑤ 問題の所在を明確にした上で、合意形成をめざす。
- ルール⑥ 現在係争中の問題は、客観的な立場で事例として扱う。

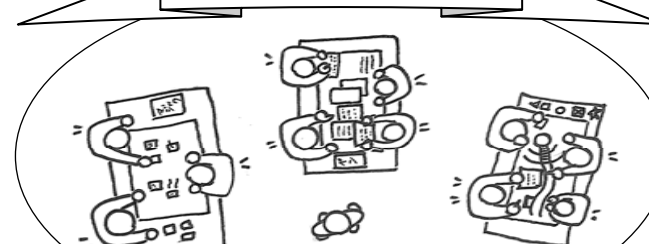
3つのステップ

自由な意見出し



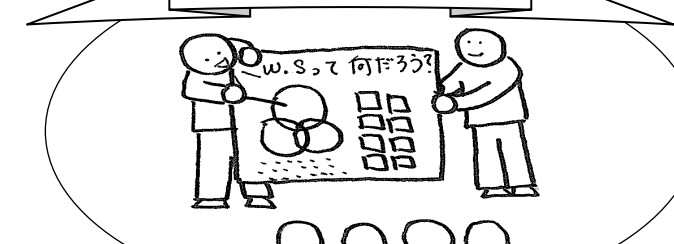
気軽に活発に意見のやり取りをする
（ポストイットなどを有効に活用）

意見の分類



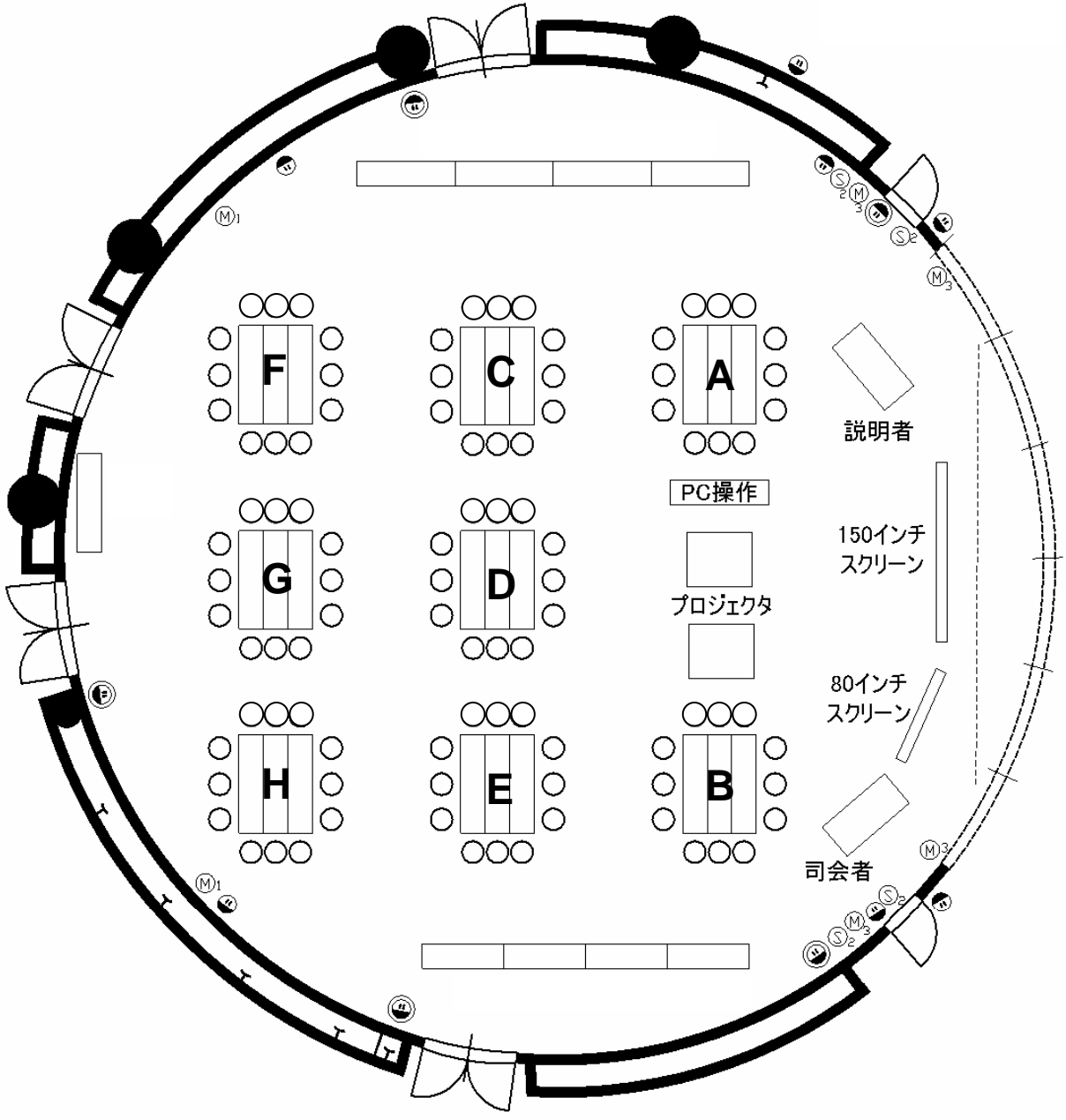
出てきた意見から、（作業などを通して）分類してまとめていく。

成果の共有



会場全体で出た意見を共有し、意見交換。それを基にした相互理解。

第8回 芹川川づくり会議 座席図



第8回 芹川川づくり会議

芹川の現状について

滋賀県

1. 流域図



第1回 芹川川づくり会議資料

2. 平面図



3. 主要地点横断面

下流域（池州橋上流）



中流域（名神高速道路の上流）



上流域（梶の本橋の下流）



4. 流域の変遷

1953年(昭和28年)頃

1995年(平成7年)頃

芹川

芹川

東海道路

東海道路

第1回 芹川川づくり会誌資料

5. 中小河川改修事業

昭和42年～昭和62年 中小河川改修事業にて改修

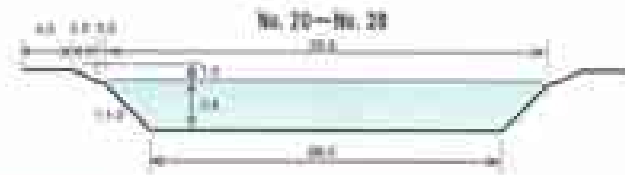
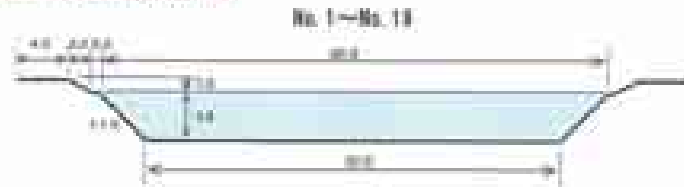
中小河川改修事業区間
540m/s改修済み

芹川

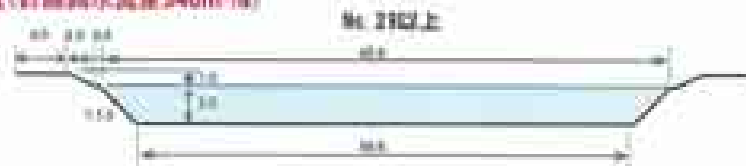
治水運用点 船橋

6. 改修定規断面 JR下流・JR上流

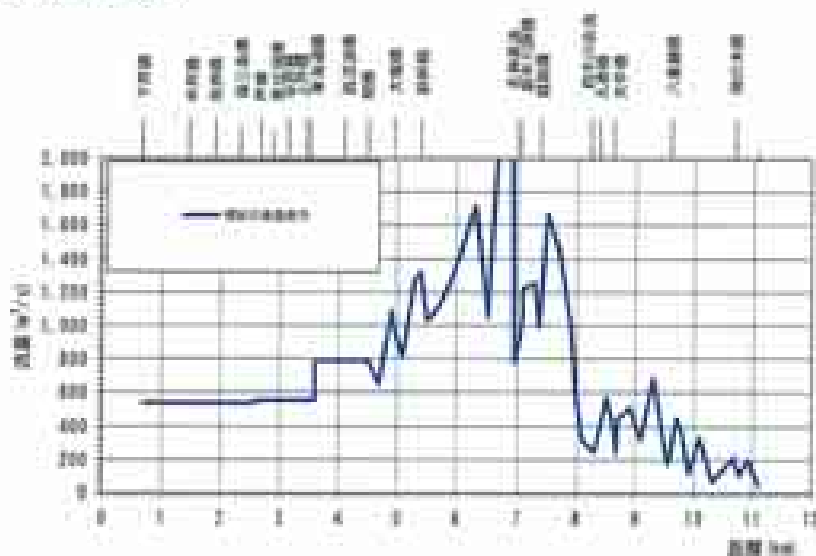
JR下流(計画高水流量540m³/s)



JR上流(計画高水流量540m³/s)

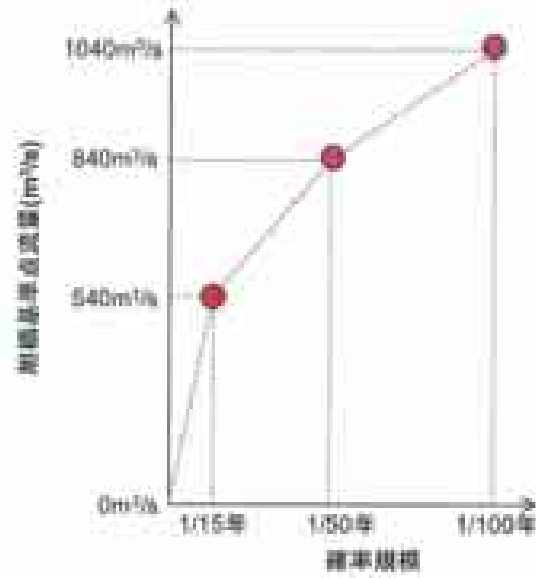


7. 流下能力



第1回 丹川川づくり会議資料

8. 現状治水安全度の評価

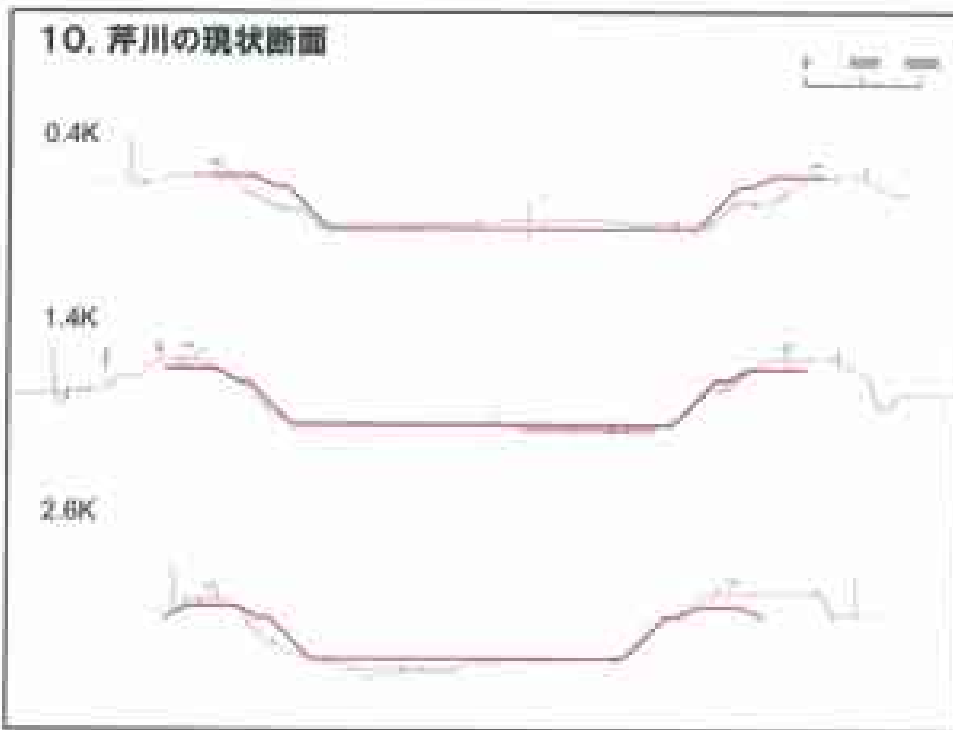


9. 平成2年19号台風時の洪水の状況 (後三条橋下流付近)

後三条橋下流付近



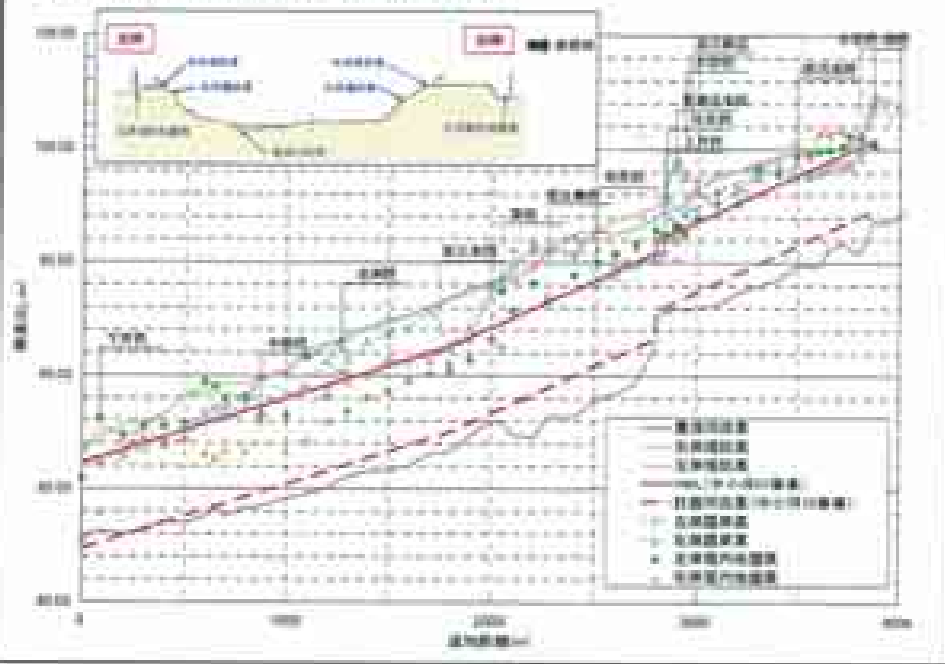
10. 芹川の現状断面



11. 西沼波地先護岸工事写真、工事断面



12. 芹川の堤防高、堤内地盤高図



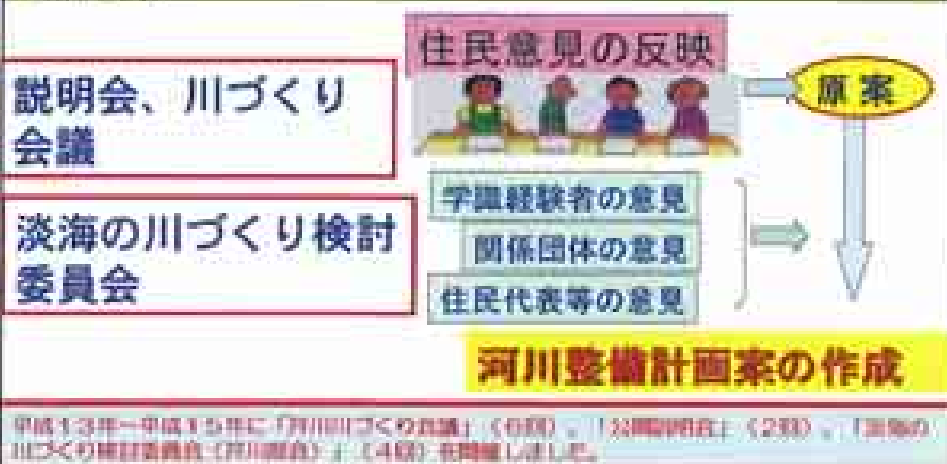
第8回 芹川川づくり会議

芹川川づくり会議の経過について

滋賀県

1. 河川整備計画の策定

- ・新たな河川では河川整備計画の策定にあたっては、関係住民の意見を反映させ、学識経験者等の意見を聞いています。
- ・先ず住民の方々の意見反映の場として、「説明会」や「川づくり会議」を開催します。
- ・次に「学識経験者、地方団体の長、住民代表等」の方々の意見を聞く場としては、「淡海の川づくり検討委員会」を開催してこれらの場において、意見を踏まえ、最終的な「河川整備計画」を決定します。



2. 芹川川づくり会議の経緯



環境に配慮した治水対策として永谷川の河床部穴あきダムは川づくり会議の意見が反映されており住民参加の成果

3. 川づくり会議の様子



川づくり会議の様子（2013年10月）



川づくり会議の様子（2013年10月）

- 川づくり会議は早朝（3時）から始まり、夜遅くまで行われました。
- 「川づくり会議」では、川づくりの現状、今後の取り組み、治水対策の検討などについて話し合いました。
- ワークショップ、現地視察などで川づくりへの幅広い意見を聞き、フォーラム形式の話し合いでダム建設について賛否両論の話し合いを行いました。



川づくり会議の様子（2013年10月）

4. 芹川における治水方策メニュー

- ・ 河川改修 (案)
- ・ 遊水池 (案)
- ・ 放水路 (案)
- ・ トンネル放水路 (案)
- ・ 地下貯留施設 (案)
- ・ ダム (案)

河川改修に関する詳細は別冊を参照

5. 「河川改修」のみで治水を行う場合

＜下流部 河川改修の例＞
(上流部も改修の必要がある)

・ 民家移転数：約234戸



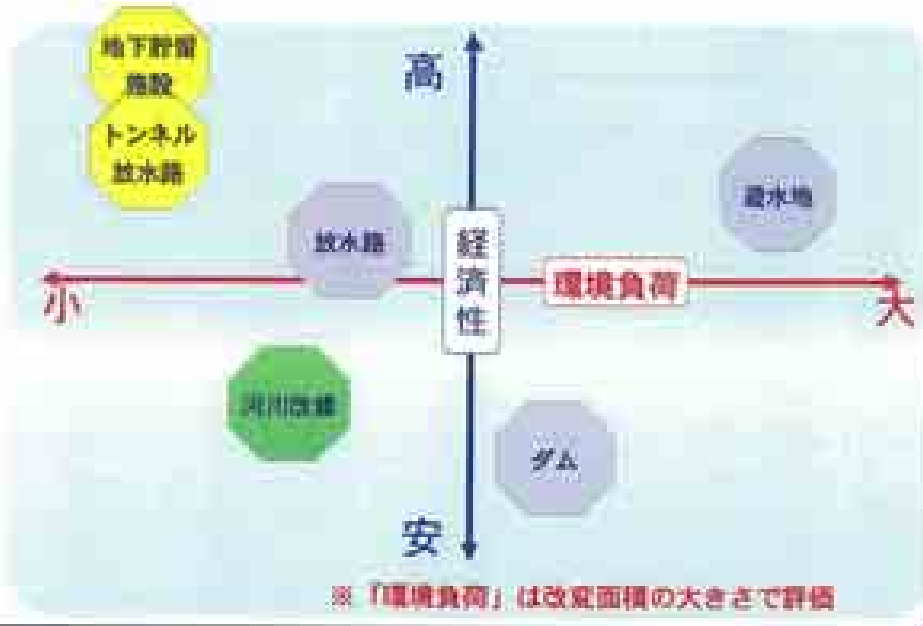
洪水を防止するためには、
赤線まで河川を拡幅する
必要がある。





10. 各治水方策の特徴

H13国土地院調査資料より



11. 芹川流域での「ためる」機能の位置図

